

(19)日本国特許庁 (JP)

(2)公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平9-503823

(43)公表日 平成9年(1997)4月15日

(60)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	序内整理番号	F I
C 23 C 22/48	9445-4K	C 23 C 22/48	
22/34	9445-4K	22/34	
F 28 F 13/18	9335-3L	F 28 F 13/18	IIS

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 16 頁)

(21)出願番号	特願平7-512078
(36) (22)出願日	平成6年(1994)10月14日
(35)翻訳文提出日	平成8年(1996)4月15日
(36)国際出願番号	PCT/US94/11684
(37)国際公開番号	WO95/10641
(37)国際公開日	平成7年(1995)4月20日
(31)優先権主張番号	03/137, 583
(32)優先日	1993年10月15日
(33)優先権主張国	米国(US)

(71)出願人	サークループロスコ・インコーポレーテッド アメリカ合衆国インディアナ州47403, ブルーミントン, ヨスト・アベニュー 2017
(72)発明者	トムリンソン, チャールズ・イーアーティンスヴィル, コンサベーション・クラブ・ロード 970
(74)代理人	弁理士 湯浅 勝三 (外6名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 金属表面用の化成被覆剤

(57)【要約】

アルミニウム、鉄及びマグネシウム合金材料類のための化成被覆剤はジルコニウム、フッ素及びカルシウムイオンを含む。この被覆剤は、好ましくは約2.6ないし約3.1のpHであり、そして隨着にリン酸塩、ポリリン酸塩、タンニン、ホウ素、亜鉛及びアルミニウムを含みうる。溶存酸を錯化するための金属イオン封鎖剤、及びATMPのような結晶変形剤も好ましくは含まれる。